

科目名	運動学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	通年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
人体の構造と機能と専門用語による説明について学ぶことにより、義肢装具士に必要な適合技術の一助とするともに医療従事者とのコミュニケーションを行えるようにする。								
〔授業全体の内容の概要〕								
医学的・生体力学的に正確な義肢装具の製作に必要な人体の構造と機能を学習する。内容の理解を確認するため、各種テストを実施する								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
運動学的根拠に基づいた義肢装具の製作・適合および医療従事者とのコミュニケーションを図れるようになることを到達目標とする。								
回数	講義内容							
1	総論 生体力学							
2	総論 生体力学							
3	関節の構造と機能							
4	関節の構造と機能							
5	骨格筋の構造と機能							
6	骨格筋の構造と機能							
7	運動の中樞神経機構							
8	運動の中樞神経機構							
9	上肢の運動・肩甲帯							
10	上肢の運動・肩甲帯							
11	上肢の運動・肩関節							
12	上肢の運動・肩関節							
13	上肢の運動・肘関節							
14	上肢の運動・肘関節							
15	上肢の運動・手関節							
16	上肢の運動・手関節							
17	上肢の運動・手指							
18	上肢の運動・手指							
19	下肢の運動・股関節							
20	下肢の運動・股関節							
21	下肢の運動・膝関節							
22	下肢の運動・膝関節							
23	下肢の運動・足関節							

科目名		運動学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	通年	必修・選択	必修
回数	講義内容								
24	下肢の運動・足関節								
25	体幹の運動								
26	体幹の運動								
27	歩行								
28	歩行								
29	異常歩行								
30	異常歩行								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
エッセンシャルキネシオロジー 機能的運動学の基礎と臨床	監訳: 弓岡光徳 他	南江堂

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験(終講試験・小テスト)により認定する。
